

かんがえるって おもしろい！

がくしゅうひかりのくに

週案例

- ・ 保育絵本を活用し、言葉・数の学びの基礎を培う。
- ・ 身近な社会に気付き、将来の夢を考えるきっかけにする。

ねらい

活動内容

環境や援助

からもご活用ください。



遊園地
楽しそうだね。

くまさんの
遊園地だ！

『あ』から
始まる言葉を
探すんだね！

ひょうし

- ・ 物語を読み取って感じたり考えたりしたことを伝え合う。
- ・ 言葉の課題に楽しく取り組む。



しゃかい 2～7ページ

わあ おおきい! なんの タイヤ?

ねらい

社会を身近に感じ働く乗り物に興味を持つ

活動内容

- ・写真に注目し、クイズを楽しむ
- ・働く乗り物のお仕事に興味を持ち図鑑を見してみる

バスのタイヤってどのくらい?



このくらい?



えー! きっと
もっと大きいよ!

お家の車の
タイヤはね…。

環境や援助

- * 「バスのタイヤってどのくらいかな? みんなより大きい? 小さい?」など身近な乗り物を思い出しクラス全体でクイズを楽しめるようにする。
- * 乗り物図鑑を用意し見られるようにする。



保育がひろがるぞう！ポイント

将来の夢について話してみましょう♪

ねらい

身近な社会に気付き、将来の夢について考えるきっかけにする

活動内容

- ・身近なお仕事について話し合う
- ・将来の夢について考える

みんなの周りには
どんなお仕事が
あるかな？



バスの
運転手さん！



スーパーの
レジの人！

いつか
やってみたいなあ。



環境や援助

＊「他にもみんなの周りにはどんなお仕事をしている人がいるかな？
おうちの人はどうかな？」など身近な社会に気付けるよう言葉をか
ける。



しぜんの おはなし 8～19 ページ

ぼくたち、だんごむし・けんきゅうチーム！

ねらい

飼育の楽しさを感じ、命を大切に
大切にする気持ちを育てる

活動内容

- ・飼育を通して生き物の命を大切にしようとする
- ・友達と話し合って飼育方法を考える

まずどの入れ物を
おうちにする？

広いおうちに
してあげたいな。

でもその箱だと
登れちゃうんじゃない？

つるつるだと
登れないから…。



環境や援助

- *飼育に必要な廃材などをあらかじめ用意しておき、子どもたちが考えて選べるようにする。
- *飼育方法について話し合ったり、ダンゴムシについて知っていることをクラスで共有したりする時間を作る。



しゅわ 20-21 ページ

で「おはよう」をつたえよう！

ねらい

手話を通して多様性ある
人間関係に気付く

活動内容

・手で会話できることを知り、実践してみる



どうやってら
伝わりやすいかな？

手の動きを
大きくする！

表情でも
伝えられるよ。



環境や援助

- ＊「耳が不自由な人が困ることって何かな？」など手話を実践する前に手話を使う人のことをクラスで考え、話し合うようにする。
- ＊「音や声以外でどんなふうに伝えたらいいかな？ 表情は？」など、どう伝えるか考えられるようにする。



ことば 22～29 ページ

ばたばたして そろえよう！

ねらい

言葉を声に出して言葉の
「頭音」を理解する

活動内容

- ・ 誌面のしかけを楽しみながら、言葉から頭音を取り出す
- ・ 付録のカードで言葉探しを楽しむ



これは何かな？
ゆっくり言ってみよう。

は・ん・ば・あ・ぐ！



「は」から
始まる言葉だ！



環境や援助

- * まずは写真を見て言葉を声に出すようにし、そのときに一音一音丁寧に発音するようにする。
- * 付録のカードの使い方をクラスで確認する。
- * クラスにあらかじめあ行・か行のものを用意しておく。



かず 30～37 ページ

なかまで あつまろう！

ねらい

仲間集め、一対一対応を実践し
数の学びの基礎を培う

活動内容

- いろんな仲間に分かれることを楽しみながら
数の理解を深める
- 一対一対応を実践しながらシール遊びを楽しむ

帽子グループで乗り物に
乗ったらどうかな？

う〜んと…。



あ！ 席が
ぴったり
だった！



環境や援助

- * 「他にどんなグループが作れるかな？」など誌面に注目し、理解を深められるようにする。
- * シールでは「今度は動物で分かれて乗り物に乗ろう！ 乗り物はちょうどかな？」など発展や数に関わる言葉の表現を促す。



みんなで はなしあおう！ 38-39 ページ

小さい子との関わり

ねらい

自分の考えを言葉にしたり友達の意見を聞いたりする楽しさを感じる

活動内容

- ・友達と意見を出し合うことを楽しむ
- ・園生活の楽しいことをクラスで共有して期待を持つ

隣のお友達と
話してみよう。



私だったら
給食がおいしいよって
言ってあげる！



ぼくは…。



環境や援助

- * 小さいグループやペアを作って話し合いやすい場を作る。
- * 意見に共感し、発言することが楽しい雰囲気を作る。